



いざという時に 「使える」贈り物を



兵庫県立宝塚西高等学校

国際教養コースでは、グローバル教育の充実を重点的な取り組みのひとつとし、国際的な教養や広い視野、グローバル社会で活躍できる力を身に付けるために、海外修学旅行だけでなくオーストラリアの姉妹校などと相互交換を行い国際交流に力を入れている。



辻江第3年学年主任（取材当時）（以下、辻江先生）にお話を伺いました。

エアーストレッチャーを知った経緯を教えてください。

三田市けやき台で毎年開催されている防災訓練で初めて知りました。実際に採用している自治会の防災担当の方にご紹介いただき、体験する機会がありました。

階段下り搬送はするする

初めて体験された時はどのような印象を受けましたか？

階段の下り搬送を体験したのですが、するする降ろせたので非常に楽だなという印象でした。昔、友人が雪山でスキー事故にあったときにスノーモービルで搬送されているような、まるでそういった感じで階段を下ろすことができました。

棒担架は階段搬送が難しい

なぜ今回卒業生寄贈品としてご採用いただいたのか、その経緯をお聞かせいただけますか？

これまでは体育大会などで使う（運動会）テントや電波時計などを採用していたのですが、保管場所が徐々になくなってきていたため、なにか違ったものを採用できないかなと考えていました。

その際課題を抱いていた、体調の悪い生徒が出た際の搬送に着目しました。校舎の構造に特徴があり、保健室のある校舎までの搬送がスムーズにいかないという課題がありました（教室のある棟と保健室のある棟は地上と3階部分でつながっており、4階から生徒を搬送する際どうしても階段を経由する必要があった）。



防災訓練で体験している様子（提供：三田市けやき台自治会）
※写真の製品は「エアーストレッチャー FDMエアール」

また棒担架での階段搬送は取り回しが難しく、設置場所も遠かったため使う機会があまりありませんでした。そのためおんぶするか肩を貸すかなどで保健室まで生徒を連れていくことはなかなか大変でした。

そういった課題があるなか防災訓練で体験したエアーストレッチャーを思い出しました。いざとなったら「使える」ものを置いておなくては、と考えたのがきっかけでした。

現在はこういったところに設置してあるのでしょうか？

校舎でも運動場でも使用できるように校舎中央の昇降口、AEDの横に設置しました。軽くてコンパクトなので、いざというときに機動力があって「使える」場所に置いてあります。

担架を使ったことが無い学校にはぜひ

こういった悩みを抱えている学校に採用いただきたいと思いませんか？

体調が悪くなった生徒を保健室まで運ぶ際に様々な理由で担架をつかったことがない学校や、おんぶなど搬送に手間取った経験がある学校にはぜひ採用を検討いただけたらと思います。

階段が運べるのは良いですね

実際採用いただく前に当社社員による製品体験会（デモ）があったと思うのですが、その際、他の先生の反応はいかがでしたか？

保健部長の先生がたまたま通りかかり、体験いただいたのですが、「すごい、いいですね」と好印象でした。他の先生も階段が運べるのは良いですねと反応は上々でした。そして検討の結果、採用することになりました。



校舎中央昇降口、AEDのとなりに設置されているエアーストレッチャー

取材後記

お話の中で、「使える」もの（担架）という言葉を多くいただきました。担架自体もちろん出番のない方が良いものではありませんが、いざという時に「使える」もの（担架）であることが当社製品の存在価値であると我々は考えております。これからもいざという時に「使える」もの（担架）であるために普及啓蒙活動に励んでまいりたいと改めて感じる事ができた取材でした。末筆ではございますが、今回取材にご協力いただきました兵庫県立宝塚西高等学校の皆さま、辻江先生に感謝申し上げます。



エアーストレッチャー® 株式会社

〒380-0802 長野県長野市上松4丁目1番1号 1F
TEL: 026-259-3400 FAX: 026-259-3385
営業拠点: 長野、関東、東海、関西、九州
ホームページ: www.airstretcher.jp